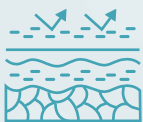


ラクトティー

LACTO TEA

期待される効果 Efficacy



皮膚バリアを強化



抗老化



チロシナーゼ
活性を阻害



メラニン抑制



保湿力を高める

ラクトティーについて：

乳酸菌は、糖を代謝して乳酸を生成する微生物で、自然界に広く存在し、近年胃腸の健康食品として注目されています。

異なる培養物質を共発酵させる環境を提供することで、乳酸菌がより多くの新規物質を代謝できるようになるため、この発酵液では乳酸菌とお茶を共発酵させた培養液が得られ、細胞学的実験により、チロシナーゼ活性を阻害する能力があることが判明し、抗酸化作用があり、皮膚細胞の増殖を促進します。

販売名：ラクトティー
表示名称：乳酸桿菌発酵液、チャ葉エキス
INCI名：Lactobacillus Ferment
Camellia Sinensis Leaf Extract

外観：薄茶色～茶色
保存方法：室温・遮光
推奨配合量：1%～4%
規格：1kg

販売名	表示名称
ラクトティー	水、プロパンジオール、乳酸桿菌発酵液、チャ葉エキス、ヒドロキシアセトフェノン、カプリルヒドロキサム酸、エチルヘキシルグリセリン

お問合せ先

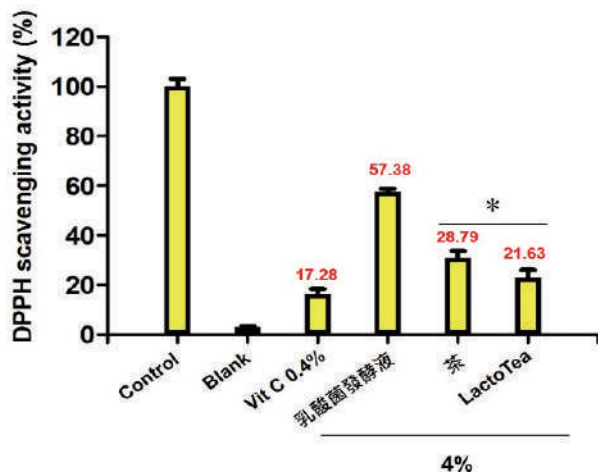
U STYLE 株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-15-7 いちご大手町ノースビル3F
info@ustyle-japan.com TEL:03-5244-5466 FAX:03-5244-5465



安全性評価

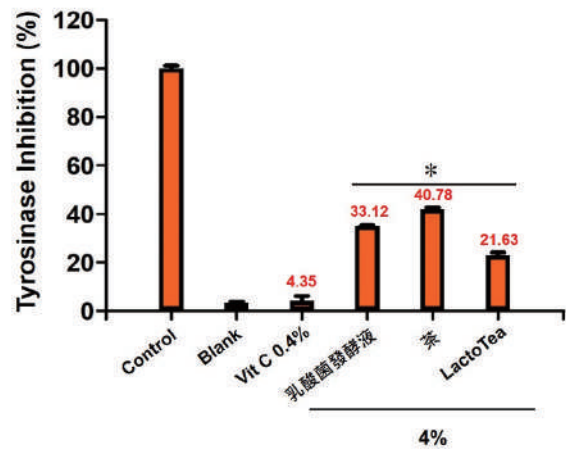
- ・ 細胞毒性なし・変異原性なし・刺激性なし・光毒性なし
- ・ 有害な成分やアレルギー成分は含まれていません
- ・ アトピー性皮膚炎に悩む大人や子供にも適しています

抗酸化力試験 Anti-oxidant assay



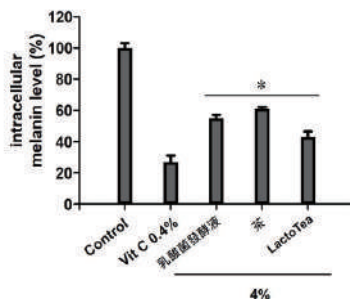
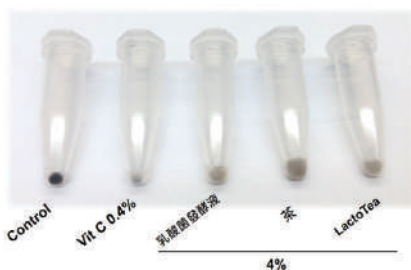
DPPH 溶液がサンプルとに対して抗酸化効果を持つ場合、吸光度値の低下を引き起こします。これは、サンプルの抗酸化能力の強さを測定するために使用できます。結果は、ラクトティーの濃度下で、結果が $p < 0.05$ であり、有効性値が $\geq 20\%$ であり、有効であると判断されることを示している。

チロシナーゼ阻害試験 Tyrosinase Inhibition Test



各サンプルにチロシナーゼを反応させた後、その活性が阻害されるかどうかを観察し、チロシナーゼが阻害されると吸光度が低下することから、サンプルの美白効果を判断します。統計結果は、ラクトティーの濃度下で、結果が $p < 0.05$ であり、有効性値が $\geq 20\%$ であり、有効であると判断されることを示している。

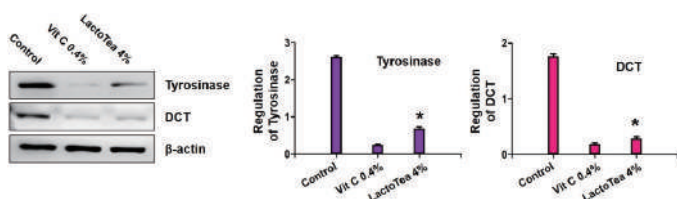
細胞内メラニン生成抑制試験 Inhibits intracellular production of melanin



ラクトティーをモデルメラノサイトに反応させたところ、細胞のメラニン生成の抑制が観察されました。結果は、発酵液がメラニンの合成を効果的に減少させることができるが、ラクトティー（共発酵グループ）はより顕著な阻害効果があることを示しました。

細胞内メラニン合成タンパク質を阻害

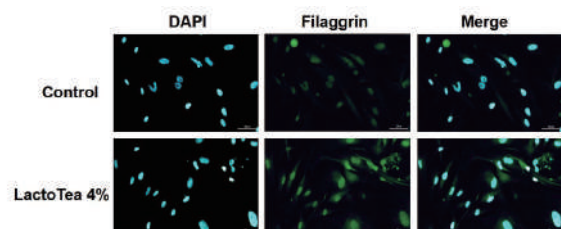
Inhibits intracellular melanin synthesis protein



チロシナーゼとDCTはメラニン合成に重要なタンパク質（酵素）であり、これらが阻害されるとメラニンの含有量にも影響を及ぼします。結果は、ラクトティーがチロシナーゼとDCTの発現を効果的に減少させ、それによって美白効果を達成できることを示しています。

保湿に関する試験

Moisturizing efficacy test



フィラグリンは、上皮細胞のケラチン線維に結合するフィラメント関連タンパク質です。フィラグリンは角質層上部でさらに処理されて、水分を保持し、細胞間の結合を強化する遊離アミノ酸を放出します。それにより、細胞間の結合を強化し、水分の損失をコントロールします。実験結果では、ラクトティーがフィラグリンの性能（緑色蛍光強度）を大幅に向上させ、保湿効果を効果的に達成できることがわかりました。